

2018年7月6日

RPAの本格導入および「RPA推進チーム」の新設について

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、働き方改革の一環として、生産性の高い業務運営体制の構築を目指し、2018年7月2日にRPA推進チーム（専担部署）を新設し、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を本格導入しましたのでお知らせいたします。

【背景】

本年1月より、生産性向上の取り組みの一つとしてデジタル化を推進し、本部集中業務や集計業務の9業務を対象に「RPAの活用による業務自動化」を試行してまいりましたが、年換算で556時間分の作業量を削減しております。

【目的】

今回、RPA化を加速させるため、外部の専門家を入れた「RPA推進チーム」を営業企画部内に設置し、今年度、100業務のプロセスを見直すことで18,000時間分の作業量削減を図ってまいります。そこで創出された時間をお客さまとの接点拡大に充てていくとともに、事業支援や資産形成コンサルティングといった金融サービスの提供に一層努めてまいります。

【概要】

項目	内容
導入ソフト名	NTTデータ社提供ソフト「 ^{ウィンアクター} WinActor」
対象業務	本部各部署で行っている集中業務、集計業務等 ※将来的にローンプラザ、一般営業店業務への展開も目指す
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易かつ低コストでの業務プロセスの自動化 ・定型業務処理時間の65%程度の時間削減 2018年度：18,000時間分の作業量削減 ・人為的ミスの削減による業務品質の向上

※RPAとは、機械学習や人工知能（AI）の技術を用いて、データ収集や加工、集計、保存などの定型作業をロボット（ソフトウェア）により代替し自動化することです。

以上